

令和5年度 上野保育園自己評価(保育士用)

集計人数 11名

保育士自己評価

		はい	いいえ	どちらとも いえない
1	子どもに分かりやすい温かな言葉づかいで、おだやかに話している。	9	0	2
2	子どもの質問に対して「待って」「あとで」などと言わずに、なるべくその場で対応している。	9	0	2
3	「できない」「やって」などと言ってくる子どもに対して、その都度気持ちを受け止めて対応している。	11	0	0
4	登園時に泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ったりするのではなく、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしている。	11	0	0
5	トイレに行くことをせかせかせたり強制したりせずに、一人一人のリズムに合わせるようにしている。	10	0	1
6	おもらしをしたときに、その都度やさしく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮している。	11	0	0
7	衣服の脱ぎ着に際して、せかせかせたり、着せてしまったりしないで、自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしている。	10	0	1
8	子どもが自分で着脱しやすいように、衣類の整理の仕方や着方の援助について工夫がみられる。	10	0	1
9	休息時には、子守歌を歌ったり、背中を軽くたたくなど、安心して心地よい眠りにつけるように配慮している。	11	0	0
10	休息時間以外でも、一人一人の状況に応じて眠らせたり、身体を休ませるようにさせたりしている。	11	0	0
11	休息時間に、眠くない子どもへの配慮をしている。	11	0	0
12	子どもが身近に動植物に接する機会をつくっている。	7	1	3
13	園庭や散歩で拾ってきた葉や木の実など、季節感のある素材を活用している。	8	1	2
14	散歩などで地域の人たちに接する機会をつくっている。	6	3	2
15	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。	8	1	2
16	子どもが自由に歌ったり、踊ったりする場面がみられる。	11	0	0
17	さまざまな楽器を楽しめるようになっている。	4	5	2
18	クレヨン・絵具・粘土・紙など、様々な素材を子どもたちが自分で使えるように用意されている。	8	2	1
19	子どもの作品が保育に活かされたり、工夫して飾られたりするなど、大切に扱われている。	11	0	0
20	身体を使った様々な表現遊びが取り入れられている。	9	0	2
21	絵本の読みきかせや紙芝居などを積極的に取り入れられている。	11	0	0
22	子ども同士の関係をよりよくするような適切な言葉かけをしている。	11	0	0
23	けんかの場面では、危険のないように注意しながら、子どもたち同士で解決するように援助している。	10	0	1
24	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。	11	0	0
25	当番活動などが日常生活の中で行われている。	6	3	2
26	異年齢の子どもとの交流が行われている。	11	0	0
27	授乳は、子どもが欲しがるときに、抱いて目をあわせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている。	9	0	2
28	離乳食については、家庭と連携をとりながら、一人一人の子どもの状況に配慮して行っている。	10	0	1
29	おむつ交換は、やさしく声をかけたり、スキンシップをとりながら行っている。	11	0	0
30	一人一人の生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。	11	0	0
31	外気に触れさせたり、戸外遊びを行う機会を設けている。	11	0	0
32	顔を見合っあやしたり、乳児とのやりとりや触れ合い遊びを行っている。	11	0	0
33	たて抱き、腹這いなど、子どもの姿勢を変えている。	11	0	0
34	寝返りのできない乳児を寝かせる場合には仰向けに寝かせている。	11	0	0
35	特定の保育者との継続的な関わりが保てるよう配慮している。	10	0	1

令和5年度 上野保育園自己評価(職員用)

集計人数 6名

保育園評価

	保育園評価	集計人数		
		はい	いいえ	どちらとも いえない
1	一人一人の子供の発達状況に配慮した指導計画となっている。	5	0	1
2	一人一人の子供の発達状況、生活状況についての記録があり、それぞれの 子供に関する全職員に周知されている。	2	2	2
3	一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うため のケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	4	2	0
4	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させて いる。	5	0	1
5	感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応 じて保護者に連絡している。	6	0	0
6	アレルギー疾患を持つ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	6	0	0
7	日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保 護者に知らせている。	6	0	0
8	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。	4	1	1
9	子どもが落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。	4	0	2
10	時には戸外で食べるなど、様々な食事のスタイルの工夫がある。	4	2	0
11	おやつは、手作りを心がけている。	6	0	0
12	旬のものや季節感のある食材やメニューを取り入れている。	6	0	0
13	子どもが育てた野菜などを料理して食べることがある。	6	0	0
14	子どもが配膳や後片づけなどに参加できるよう配慮している。	6	0	0
15	各部屋に湿温計などがあり、温度・湿度に配慮している。	6	0	0
16	他洗い場、トイレは、保育中も時折り清掃し、不快なおいがないようにしてい る。	6	0	0
17	寝具の消毒や乾燥を定期的に行っている。	6	0	0
18	屋外の砂場や遊具の衛生面に配慮している。	5	0	1
19	子どもが不安になった時などにいつでも応じられるように、保育者が身近にい る。	4	0	2
20	一人一人の子どもがくつろいだり落ち着ける場所がある。	3	0	3
21	音楽や保育者の声など、音に配慮している。	4	0	2
22	屋外での活動の場が確保されている。	6	0	0
23	家庭的な雰囲気が感じられる。	3	0	3
24	好きなことをしてくつろげる空間や遊具がある。	5	0	1
25	長時間保育を受ける子どもに夕食や軽食が提供されている。	5	0	1
26	子どもの状況について、職員間の引継ぎを適切に行っている。	5	0	1
27	一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行ってい る。	4	2	0

28	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	4	1	1
29	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに延長まで届く体制になっている。	6	0	0
30	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	6	0	0
31	児童相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。	5	0	1
32	小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。	4	0	2
33	中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。	6	0	0
34	保育所の保育理念及び基本方針が文明化されている。	6	0	0
35	保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行っている。	6	0	0
36	保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。	4	0	2
37	保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。	4	0	2
38	職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。	6	0	0
39	守秘義務の遵守を周知している。	5	0	1
40	保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。	5	0	1
41	事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	6	0	0
42	事故防止のための具体的な取り組みを行っている。	6	0	0
43	調理場、水周りなどの衛生管理は、適切に実施されている。	5	0	1